

平成25年度  
第5回阿波市教育委員会定例会会議録

阿波市教育委員会

平成25年度第5回阿波市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成25年9月3日(火)

開会 午後2時00分

閉会 午後3時40分

2 場 所 吉野支所 2階会議室

3 出席委員

委 員 長	安 田 佳 子
委員長職務代理者	重 清 由 充
委 員	大 村 勝 子
委 員	大 塚 清
委 員	大 戸 井 美 生
委員(教育長)	坂 東 英 司

4 会議出席者

教 育 次 長	新 居 正 和
教 育 次 長	藤 本 功 男
教 育 総 務 課 長	三 浦 康 雄
学 校 教 育 課 長	大 倉 敏 美
(書記) 教 育 総 務 課 長 補 佐	上 田 美 智 代

5 付議事項

- (1) 前回会議録の承認について
- (2) 教育長の報告について
- (3) 平成25年度教育委員会一般会計予算補正第3号について
- (4) 準要保護の認定について
- (5) 教育委員会事務事業の点検及び評価について
- (6) 公文書公開請求について
- (7) その他について

会議の概要は、次のとおり。

【安田委員長】 定例会を開会する旨を告げる。

(1) 前回会議録の承認について

【安田委員長】 事務局に説明を求める。

【新居教育次長】 第4回定例会の会議録について説明する。

〈質 疑〉

なし

【安田委員長】 「前回会議録の承認について」を承認する旨を告げる。

(2) 教育長の報告について

【安田委員長】 教育長に報告を求める。

【坂東教育長】 8月7日から9月3日までの、主だった教育委員会行事等について報告。

〈質 疑〉

なし

【安田委員長】 「教育長の報告について」を了承する旨を告げる。

(3) 平成25年度教育委員会一般会計予算補正第3号について

【安田委員長】 事務局に説明を求める。

【新居教育次長】 平成25年度教育委員会一般会計予算補正第3号の歳入・歳出について説明。

〈質 疑〉

【安田委員長】 阿波中学校のエレベーター修繕だが、新しくしたときに、直していなかったのか。

【新居教育次長】 今回は、校舎ではなく、体育館のエレベーターのロープの取り替えである。

【安田委員長】 体育館と校舎の間にあるエレベーターだが、周りに何も無いところに、ゴンドラが降りていくだけで、見た目、怖い感じがする。今のところ、誰も使っていないと思うが。

【新居教育次長】 限られた人が使うとは、聞いたことがある。

【大塚委員】 エレベーターのロープは、どのくらいの頻度で交換しているのだろうか。

【新居教育次長】 定期点検の際に、交換をするよう報告があった。

【大塚委員】 保守点検料とは、別の料金がいるということか。

【新居教育次長】 そうである。

【大村委員】 小学校の昇降式のライトが、いざ使うときに動かなかったこともあるように、普段あまり使わないのも、良くないのだと思う。

【新居教育次長】 機械は、使わないと動かなくなる。維持管理のためにも、ときには使用して、動作を確認することが必要だ。

【重清職務代理】 点検も回数を増やすことが重要だと思う。

【安田委員長】 「平成25年度教育委員会一般会計予算補正第3号について」を了承する旨を告げる。

#### (4) 準要保護の認定について

【安田委員長】 事務局に説明を求める。

【大倉学校教育課長】 準要保護の認定について、学校別準・要保護児童生徒数を基に、説明。

〈質 疑〉

なし

【安田委員長】 「準要保護の認定について」を了承する旨を告げる。

#### (5) 教育委員会事務事業の点検及び評価について

【安田委員長】 事務局に説明を求める。

【三浦教育総務課長】 教育委員会事務事業の点検及び評価について、実施要領（案）を基に説明。

〈質 疑〉

【三浦教育総務課長】 点検及び評価に当たっては、学識経験者の知見の活用を図るということで、人選を考える必要がある。

【大村委員】 学識経験者といっても、124件もの事業は、一人ではなかなか精査できない。

【安田委員長】 教育関係の方に頼むのだろうか。それとも、行政に携わっていた方か。

【三浦教育総務課長】 特に決めてはいないが、外部の客観的な評価ができる方をお願いしたい。

【安田委員長】 三好市のエドバイザーは5人もいるので、全員が、大学の先生などではないように思う。

【三浦教育総務課長】 ホームページで確認しただけなので詳細は分からないが、1次評価の段階で加わってもらっているようだ。

【安田委員長】 事業内容を全く知らない方では、評価をするのは難しい。

- 【大戸井委員】県を通じて、評価をしてくれる機関を紹介してもらうことはできないのだろうか。
- 【三浦教育総務課長】評価自体、特段の定めがないので、統一した評価機関等はない。
- 【大塚委員】学識経験者の人選についても、特に決まりはないのだろうか。
- 【三浦教育総務課長】特にない。
- 【大戸井委員】法改正は、いつからか。
- 【三浦教育総務課長】平成20年度からである。
- 【大村委員】どうして、評価をするようになったのだろうか。
- 【三浦教育総務課長】評価によって、今後の方向性を定めていく。
- 【藤本教育次長】学校評価も同じだが、法律の改正によって評価制度が導入された。PDCAサイクル（計画・実施・評価・改善）によって、事務事業を改善していくのは、民間も含め、当然の流れになっている。
- 【重清職務代理】もし、教育関係に携わっていた方がいいのなら、他の市町村の教育関係者に頼むことも、考えていいのではないだろうか。
- 【三浦教育総務課長】報酬が伴う場合は、他の市町村関係者に依頼する理由が必要である。
- 【安田委員長】問題は、報酬よりも、評価だ。
- 【三浦教育総務課長】正しく評価してもらえるかどうか、重要だ。
- 【坂東教育長】正しい評価をしてもらうためには、事業の内容を知っていただくことが前提でもある。
- 【安田委員長】教育関係者、行政経験者、福祉関係者など、いろいろな分野の方から人選を考えたほうがいい。人数も、一人ではなく、4人ぐらいのほうが、説得力があるのではないだろうか。
- 【大塚委員】旧町単位で、一人ずつとか、地域的にも偏らない人選がいいと思う。
- 【大戸井委員】費用の件は別にして、専門の業者や機関に依頼することはできないだろうか。
- 【三浦教育総務課長】コンサルタントなどの業者はある。
- 【安田委員長】費用がかかるだろうが、そういう方法もある。
- 【藤本教育次長】民間に勤めていた方に、お願いするという方法もある。これだけの事業数がある外部評価をすれば、事務局職員へのヒアリングや関係資料の提示も必要になってくるだろう。
- 【坂東教育長】事業内容を仔細まで確認し、きっちりと詰めたうえでの評価でなくても、その方が肌で感じた思いを評価にしていただけたいのではないだろうか。教育に関心のある方に、評価していただけたらと思う。

【大村委員】一人では負担も大きいので、3、4人、人選するのがいい。

【三浦教育総務課長】学識経験者の評価への関わり方については、いくつかの方法がある。他の市町村では、教育委員会の自己評価に対する所見として文書化したものを最終報告書に掲載したり、評価の段階から加わっていただいたりしている。

【藤本教育次長】学校評価も以前は自己評価であったが、今は、学校がした評価に、資料を添えたり、学校を参観していただいたりして、外部の方に評価に加わってもらっている。回数を重ねるごとに評価力も高まるし、学校側も、より判断しやすい評価材料を提供できるようになってきている。

【安田委員長】「教育委員会事務事業の点検及び評価について」を承認する旨を告げる。

#### (6) 公文書公開請求について

(阿波市教育委員会会議規則第17条により秘密会)

【安田委員長】異議申立てのあった公文書部分公開決定処分について、異議申立てを棄却する決定を承認する旨を告げる。

#### (7) その他について

【安田委員長】委員、事務局に何かあるか尋ねる。

【藤本教育次長】阿波市内の小・中学校と図書館に保有する図書「はだしのゲン」の閲覧状況調査、学校助教員の新規配置、不登校問題、特別支援学級へのエアコン設置について報告。

##### 〈質 疑〉

【大塚委員】特別支援学級の子どもが、普通学級で授業を受けることはないのか。

【藤本教育次長】教科等によっては、普通学級で授業を受けている。支援学級でいる時間のほうが長い場合もあるが、普通学級での活動についても、いろいろな状況を勘案しながら行っている。

【大村委員】今年の夏は酷暑であり、普通学級の子どもたちにとっても、たいへんな状況であったと思われる。一部の保護者から、「吉野川市にはエアコンが付いているのに、なぜ阿波市には付かないのか。」と尋ねられる。子どもたちの暑さ寒さに負けない体づくりを推進していくことはもちろん理解できるが、学校の耐震・大規模改修が終わったら、学校へのエアコン設置を考えてもいい時期がきているのではないかと思う。

【安田委員長】私も、大村委員が言われたのと同様の質問を保護者から受けた。

【大村委員】「扇風機は、各教室に入れている。」と答えたが、「扇風機では役に立たない。」と言われた。干ばつ、ゲリラ豪雨、竜巻など、今までなかったようなこと

が起きる自然環境になってきている。

【安田委員長】吉野川市は、設置代や電気代などは保護者負担なのか。

【藤本教育次長】市負担である。補助事業を利用したので、市の持ち出しは少しであったと聞いている。

【大戸井委員】設備投資と維持管理をどういうふうにするかという提案を市民に問うて、それでも子どもさんに付けてあげたいというのであれば、もう進めていてもいいのではないか。何でも、無料というのではなく。

【大村委員】吉野川市には吉野川市の良さがあるし、阿波市には阿波市の良さもある。阿波市は、児童館や学童保育の充実や子育てしやすい環境づくりに力を入れている。しかし、今年のような暑さが、来年、再来年と続けば、やはり考えていてもいいのではと思う。電気代も、少々なら負担していただいてもと思う。

【大戸井委員】県立中学校は、200円とか300円でないかと思う。

【安田委員長】以前、県立高校にエアコンが付いたときは、設備と電気代込みで、月々の負担は1,000円であった。使用しない月も支払うので、年間12,000円になる。

【大村委員】保護者にも、いろいろな意見の方がいるので、統一をするのは難しいかもしれないが、ご協力をいただきながら。

【安田委員長】高校でも、アンケートをとれば、エアコンはいらぬという意見もあった。

【藤本教育次長】吉野川市の関係者から、いい環境の下で勉強したら、学力向上に結びつくということが、エアコン設置の大きな後押しになっているとも聞いた。結果はまだ出てないが、やはり集中力の違いというのはあったので、そのことについて、設置をして良かったと言われているそうだ。阿波市は、まずは特別教室からという話で、今年は、小学校の音楽室にエアコンを設置した。

【三浦教育総務課長】全部を一度にとというのは、難しいので、段階的に。

【大村委員】市場中学校の音楽室への設置が費用がかかるということだったようだが、設置できたのか。

【新居教育次長】中学校は、来年の予定である。

【大戸井委員】扇風機だけでも、もう少し台数を増やしてもいいと思う。仮にエアコンを付けても、28度だったら、風の動きがなかったら、余計に暑く感じる。

【藤本教育次長】昨年から、データを集めようということで、小・中学校の教室の温度を測っている。昨年は、特別教室と普通教室。今年は、普通教室2か所。9月末まで計測するので、今後、集計する。

【新居教育次長】学校のほうも、全教室に付けたらいいという考え方ではない。まずは特別教室に付けて、それから、各クラスへという考えのようだ。

【坂東教育長】既にエアコンが付いているコンピュータ室などの特別教室を活用して、現実的に対応している学校もある。

【重清職務代理】8月22日の教育文化講演会に参加した。阿波市の各小・中学校にもかなりの特別支援の子どもさんがいるので、素晴らしい先生の話聴いて、こういうときには、こういう対応が必要なのだと勉強になった。質疑応答の時間がなかったが、終わった後に個人的に尋ねるなど、そういった機会もなかったのだろうか。

【坂東教育長】終わった後も、特になかったようだ。

【重清職務代理】講師の先生は、年に2回は徳島に来ると言われていた。「特別支援のお子さんを見極めるのには、先生が目が大切である。見極める力を持ちなさい。」と話されていた。病院によっては判断も違うという話もあり、どこでその目を養ったらいいのだろうと疑問に感じた。各学校で、特別支援教育に当たられている方は、自信をもって指導できているのだろうか、どうしたらいいのだろうか悩んでいる先生もいるのではないかと思います。そういったときに、こういう素晴らしい先生に指導を仰ぐというような機会があれば、ありがたいのではないかと思います。

【藤本教育次長】2007年の4月から、特別支援教育というかたちが法律で規定された。学校現場でも、研修を受けたコーディネーターが、他の先生方に研修してきたことを広めるということが、最近はかなりできている。また、要請すると、特別支援学校の巡回指導の先生がすぐに来てくれ、半日、または1日、ずっとその子どもの様子を見て、その後、全体指導を行うこともできる。かなり、学校現場でも、具体的な指導ができている。ここ数年で、先生方の子どもを見る目というの、確実に高まってきていると感じる。

【重清職務代理】みんなと一緒にのクラスでの指導を希望する保護者の方も、多いと思う。そのようなときに、その子に合った一番いい環境について、詳しく説明し、保護者の皆さんにご理解をいただくことが、とても大事だと感じた。講演会でも、普通学級の中に入れると逆効果になることもあるので、特別支援学級で指導したほうが、自分自身の能力も付くという話もあった。

【藤本教育次長】幼稚園から小学校に上がるときに、就学指導委員会を開く。それまでに、保護者と学校が、どれだけその子について話し合うか、その中身によって保護者の安心度が違う。保護者の方も、いろいろな方がいる。最近、ずいぶん、特別支援教育に対する理解が進んだので、是非とも、支援学級に入れてくださいという方も多い。その逆の方もいる。発達障害が子どもにあるのは分かっているが、あえて、普通学級でお願いしたいという方もいる。そのときに、委員さんが言われたように、その子の将来の自立や社会参加に向けて、何が一番必要なのか



という選択肢の提供、より専門的知識などが提供できればと思う。

【安田委員長】その講演会に、何人か保護者も来ていた。夏休み中の平日開催なので子どもが家にいて、来たくても来られなかったという、特別支援学級の保護者もいるように聞いた。大きな子どもは対応が難しいかもしれないが、託児できる講演会もあるので、そういうことも考えていただけたらと感じた。講師の先生は、総合教育センターの教員向けの研修、カウンセリングゼミナールというのに、毎年来ていると言われていた。

【大村委員】先程、助教員の先生が配置され、少しは特別支援学級の課題が解消できたと聞いた。学校訪問で全市の学校を回ったが、特別支援の資格を持っている先生が集中している学校と、そうでない学校との差があった。先生方の資質向上も大事なことだが、人事のうえでの配慮や、また、メンタル面でのサポートもお願いしたい。

子どもの事故や事件は、なかったのだろうか。

【坂東教育長】特になかった。

【大村委員】先日も、四日市のつらい事件が起こったので、下校時、特に部活帰りはこれから日暮れも早くなるので、くれぐれも気をつけるよう、学校へもお願いしてほしい。田舎だから安心していただけるという時代ではないように思う。

【重清職務代理】街灯が少ないのも、問題があると思う。

【安田委員長】本日の議事が全て終了したので、閉会する旨を告げる。

閉 会

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成25年9月3日

委 員 長

委員長職務代理者

委 員

委 員

委 員

教 育 長

教育総務課課長補佐